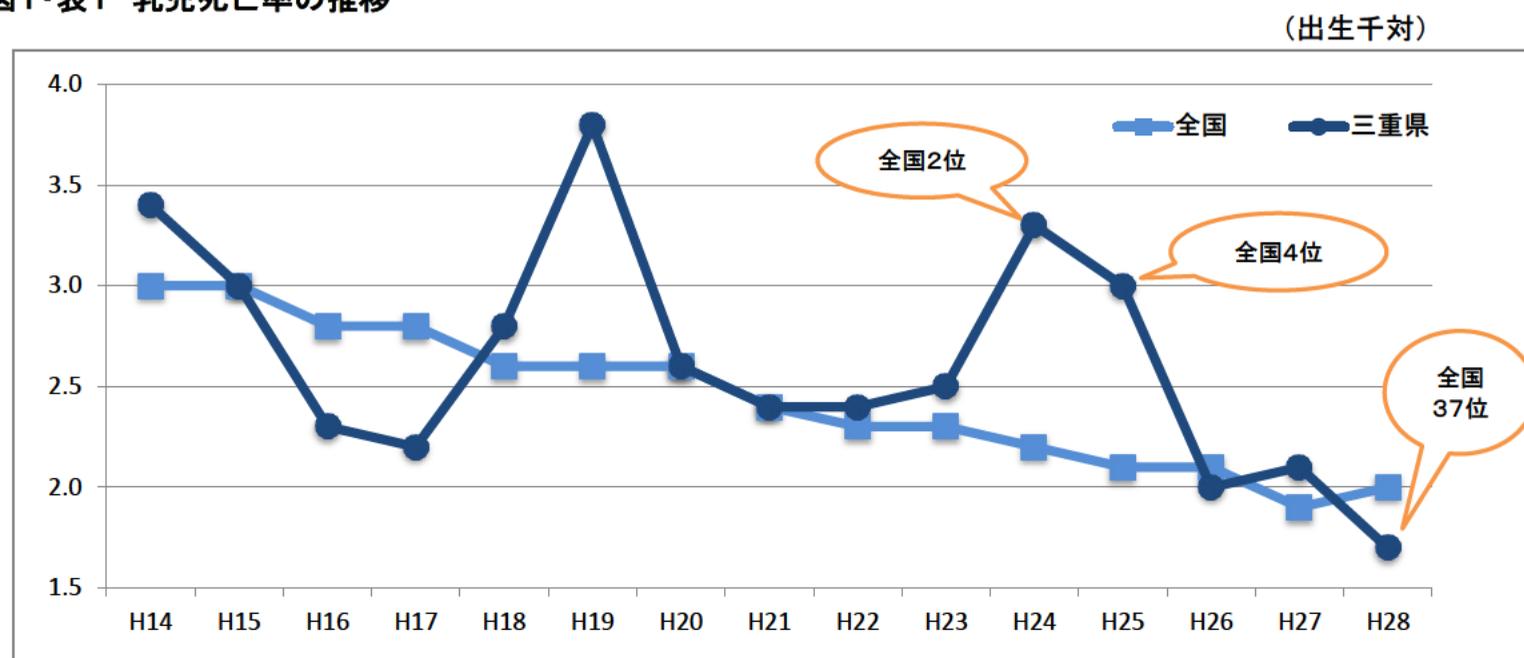


I. 乳児死亡について

図1・表1 乳児死亡率の推移



	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全国の乳児死亡率(出生千対)	3.0	3.0	2.8	2.8	2.6	2.6	2.6	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	1.9	2.0
三重県の乳児死亡率(出生千対)	3.4	3.0	2.3	2.2	2.8	3.8	2.6	2.4	2.4	2.5	3.3	3.0	2.0	2.1	1.7
三重県の乳児死亡数(人)	59	49	38	33	45	59	41	37	37	37	48	44	27	29	22
三重県の全国順位	10位	19位	43位	44位	14位	2位	17位	16位	20位	14位	2位	4位	29位	15位	37位

出典:厚生労働省「人口動態調査」

表2 三重県 主な死因別 乳児死亡数の推移(人)

乳児死因簡単分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
先天奇形、変形及び染色体異常	9	13	15	16	12	8	7	8
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	4	4	4	6	8	5	6	2
乳幼児突然死症候群	2	5	0	2	4	0	2	0
不慮の事故	3	3	5	3	6	0	0	1
胎児及び新生児の出血性障害等	2	2	2	1	2	1	2	0
上記以外	17	10	11	20	12	13	12	11

出典:厚生労働省「人口動態調査」

表3 主な死因別 乳児死亡率(H24～28年5年累計) ※()はH23～27年5年累計

	総数 (出生千対)	1位 (出生10万対)	2位 (出生10万対)	3位 (出生10万対)	4位 (出生10万対)	5位 (出生10万対)
乳児死因 简单分類		先天奇形、変 形及び染色 体異常	周産期に特 異的な呼吸 障害及び心 血管障害	乳幼児突然 死症候群	不慮の事故	胎児及び新 生児の出血 性障害及び 血液障害
全国の 死亡率	2.1 (2.1)	74.3 (77.1)	28.0 (28.3)	12.2 (12.5)	8.2 (10.5)	7.3 (7.6)
三重県の 死亡率	2.4 (2.6)	72.7 (80.6)	38.5 (40.3)	11.4 (11.1)	14.3 (19.4)	8.6 (11.1)
三重県の 全国順位	6位 (5位)	24位 (21位)	6位 (5位)	21位 (22位)	8位 (5位)	16位 (9位)

出典：厚生労働省「人口動態調査」

表4 三重県保健所別 乳児死亡率及び死亡数(H24～28年5年累計)

保健所名	出生数 (H24 ～28 年累 計)	乳児死亡総 数		1位		2位		3位		4位		5位	
				先天奇形、変 形及び染色 体異常		周産期に特 異的な呼吸 障害及び心 血管障害		不慮の事故		乳幼児突然 死症候群		胎児及び新 生児の出血 性障害及び 血液障害	
		死亡数	死亡率 (出生 千対)	死亡数	死亡率 (出生 10万 対)	死亡数	死亡率 (出生 10万 対)	死亡数	死亡率 (出生 10万 対)	死亡数	死亡率 (出生 10万 対)	死亡数	死亡率 (出生 10万 対)
三重県	70,122	170	2.4	51	72.7	27	38.5	10	14.3	8	11.4	6	8.6
四日市市保健所	13,038	39	3.0	14	107.4	8	61.4	5	38.3	1	7.7	0	0
桑名保健所	11,730	26	2.2	10	85.3	1	8.5	1	8.5	0	0	1	8.5
鈴鹿保健所	10,412	24	2.3	6	57.6	6	57.6	0	0	0	0	2	19.2
津保健所	10,511	18	1.7	5	47.6	2	19	0	0	2	19	0	0
松阪保健所	8,268	23	2.8	5	60.5	3	36.3	1	12.1	1	12.1	1	12.1
伊勢保健所	7,923	20	2.5	7	88.4	4	50.5	2	25.2	0	0	1	12.6
伊賀保健所	6,237	15	2.4	4	64.1	3	48.1	1	16	4	64.1	0	0
尾鷲保健所	837	2	2.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊野保健所	1,166	3	2.6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	85.8

表5 不慮の事故死因別 乳児死亡率(H24～28年5年累計) ※()はH23～27年5年累計

	総数 (出生10万対)	1位 (出生10万対)	2位 (出生10万対)	3位 (出生10万対)	4位 (出生10万対)	5位 (出生10万対)
	不慮の事故 総数	その他の不 慮の窒息	胃内容物の誤 えん及び気道 閉塞を生じた 食物等の誤え ん<吸引>	交通事故	その他の不 慮の事故	不慮の溺死 及び溺水
全国の 死亡率	8.2 (10.5)	3.96 (4.31)	2.89 (3.16)	0.32 (0.41)	0.44 (1.93)	0.42 (0.47)
三重県の 死亡率	14.3 (19.4)	9.98 (12.50)	2.85 (4.17)	— (—)	— (—)	1.43 (2.78)
三重県の 死亡数	10名 (14名)	7名 (9名)	2名 (3名)	0名 (0名)	0名 (0名)	1名 (2名)
三重県の 全国順位	8位 (5位)	4位 (2位)	21位 (15位)	— (—)	— (—)	5位 (1位)

出典：厚生労働省「人口動態調査」

表6 三重県 不慮の事故死因別 乳児死亡数の推移

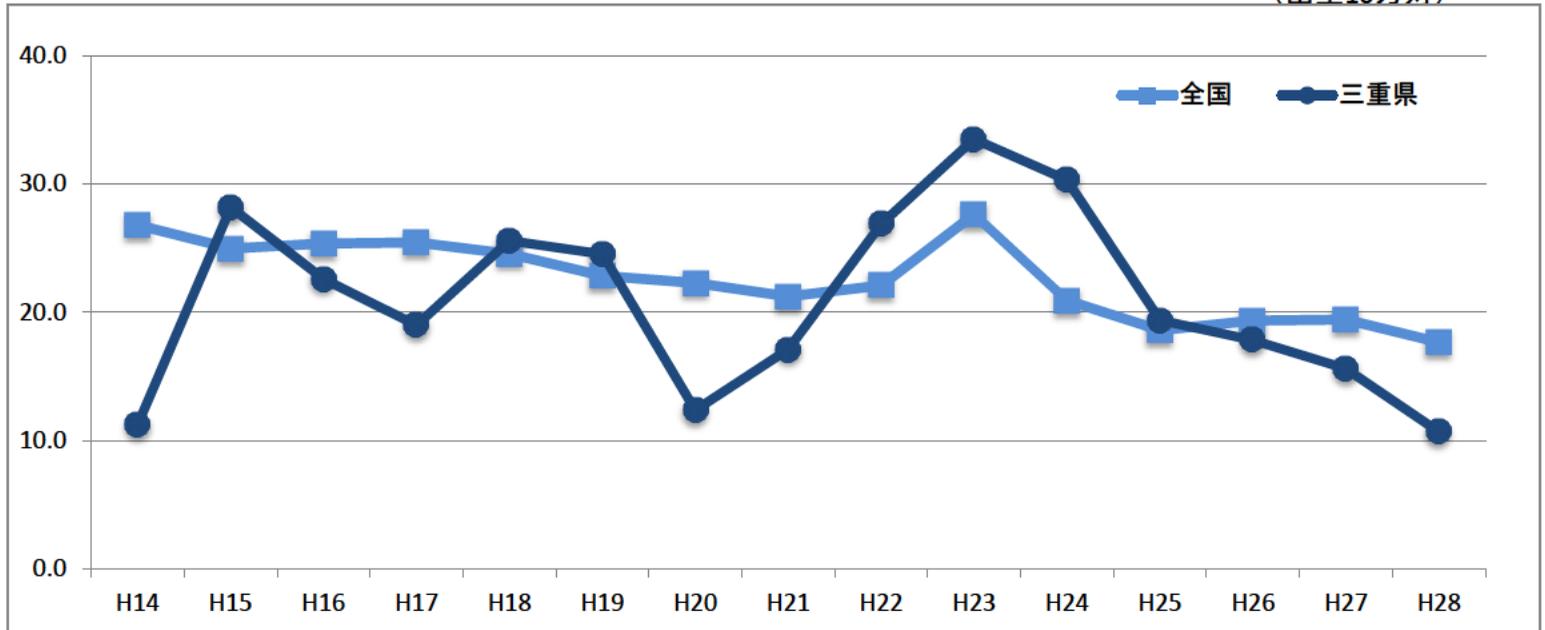
乳児死因簡単分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
交通事故	1							
転倒・転落	1							
不慮の溺死及び溺水			1	1				
胃内容物の誤えん及び気道閉塞を 生じた食物等の誤えん<吸引>		2	1	1	1			
その他の不慮の窒息	1	1	3	1	5			1
煙、火及び火災への暴露								
有害物質による不慮の中毒及び有 害物質への曝露								
その他の不慮の事故								
総計	3	3	5	3	6	0	0	1

出典：厚生労働省「人口動態調査」

Ⅱ. 幼児(1~4歳)死亡について

図2・表7 幼児死亡率の推移

(出生10万対)



	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全国の幼児死亡率(出生10万対)	26.8	25.0	25.3	25.4	24.6	22.8	22.3	21.2	22.1	27.6	20.9	18.6	19.3	19.4	17.7
三重県の幼児死亡率(出生10万対)	11.2	28.2	22.6	19.0	25.6	24.5	12.4	17.1	26.9	33.5	30.3	19.4	17.8	15.6	10.7
三重県の幼児死亡数(人)	8	20	16	13	17	16	8	11	17	21	19	12	11	9	6

出典:厚生労働省「人口動態調査」

表8 死因別 幼児死亡率(H24~28年5年累計)

死因简单分類	総数 (出生10万対)	1位 (出生10万対)	2位 (出生10万対)	3位 (出生10万対)	4位 (出生10万対)	5位 (出生10万対)
		先天奇形, 変形及び染色体異常	不慮の事故	悪性新生物	肺炎	心疾患
全国の死亡率	19.2 (21.2)	3.8 (3.8)	2.6 (4.0)	2.0 (2.0)	1.2 (1.4)	1.2 (1.2)
三重県の死亡率	19.0 (23.5)	2.0 (4.6)	2.7 (3.6)	2.3 (2.6)	2.3 (2.6)	0.7 (1.3)
三重県の死亡数	57名 (72名)	6名 (14名)	8名 (11名)	7名 (8名)	7名 (8名)	2名 (4名)

()はH23~27年5年累計

出典:厚生労働省「人口動態調査」

表9 死因別 幼児死亡率及び死亡数(H24～28年5年累計)

死因簡単分類			三重県 幼児死亡者数 (人)	三重県 幼児死亡率 (人口10万対)	全国 幼児死亡率 (人口10万対)
感染症および寄生虫症		腸管感染症	5	1.7	0.6
		敗血症	4	1.3	0.6
新生物	悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	1	0.3	0.1
		中枢神経系	1	0.3	0.5
		悪性リンパ腫	1	0.3	0.0
		白血病	1	0.3	0.7
		その他の悪性新生物	3	1.0	0.6
血液及び造血器の疾患		貧血	1	0.3	0.0
		その他	1	0.3	0.3
神経系の疾患		その他の神経系の疾患	4	1.3	1.5
循環器系の疾患	心疾患(高血圧性除く)	不整脈及び伝導障害	1	0.3	0.2
		その他の心疾患	1	0.3	0.4
	脳血管疾患	脳内出血	2	0.7	0.0
呼吸器系の疾患		肺炎	7	2.3	1.2
		その他の呼吸器系の疾患	3	1.0	0.8
消化器系の疾患		胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	1	0.3	0.0
腎尿路生殖器系の疾患		その他の腎尿路生殖器系の疾患	1	0.3	0.0
先天奇形及び染色体異常		神経系の先天奇形	1	0.3	0.3
		心臓の先天奇形	4	1.3	1.4
		その他の先天奇形	1	0.3	0.5
症状、徴候・異常臨床所見		乳幼児突然死症候群	2	0.7	0.0
		その他の症状	1	0.3	1.2
傷病及び死亡の外因	不慮の事故	交通事故	3	1.0	0.8
		転倒・転落	2	0.7	0.2
		不慮の窒息	3	1.0	0.7
		その他の外因	2	0.7	0.3
		総計	57	19.0	19.2

出典:厚生労働省「人口動態調査」

表10 三重県 不慮の事故死因別 幼児死亡数の推移

死因簡単分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
交通事故	1		1	2	1			
転倒・転落	2			2				
不慮の溺死及び溺水	1	1						
不慮の窒息		1	2		1	1	1	
煙、火・火災への曝露								
有害物質による中毒								
その他の不慮の事故								
総計	4	2	3	4	2	1	1	0

出典：厚生労働省「人口動態調査」

表11 三重県 年齢別 不慮の事故死因別の幼児死亡数(人) (H24～28年5年累計)

死因簡単分類	(人)				
	1歳	2歳	3歳	4歳	総計
交通事故	1			2	3
転倒・転落				2	2
不慮の窒息	2	1			3
不慮の溺死及び溺水					0
煙、火・火災への曝露					0
有害物質による中毒					0
その他の不慮の事故					0
総計	3	1	0	4	8

出典：厚生労働省「人口動態調査」

Ⅲ. 事故予防対策等について

1. 事故予防対策の実施状況について

(1)三重県 家庭内での事故予防の実施状況 (1歳6か月児健診時保護者へのアンケートより)

表12 幼児のお風呂での転落事故を予防するために何か工夫をしているか(%)□

	H26	H27	H28	H29
している	69.6	72.8	71.1	73.8
していない	30.4	27.2	28.9	26.2

表13 表12で工夫している者のうち、その実施内容の割合(%)

	H26	H27	H28	H29
入浴後はすぐお湯を抜いて浴槽内を空にする	69.3	66.5	68.1	71.0
浴槽の淵の高さを50cm以上にしている	11.8	12.1	12.7	15.3
お湯をはっている間は浴槽に入りにくい丈夫な蓋をしている	23.7	23.5	21.8	21.7
浴槽のドアを子どもが自分であけることができないように工夫している	38.1	45.1	45.1	44.9
その他	6.7	6.4	6.6	8.4

<参考：国の調査>

表14 浴槽に水をためたままにしないよう注意していますか。

(はい、いいえ、該当しないの3択で回答)

	H13	H17	H21	H25
はい(注意している)と答えた人の割合	64.3	69.2	71.5	73.5

表15 浴室のドアには、子どもが一人で開けることができないような工夫がしてありますか。

(はい、いいえ、該当しないの3択で回答)

	H13	H17	H21	H25
はい(工夫してある)と答えた人の割合	31.3	32.0	36.2	38.2

*平成25年度厚労科研「健やか親子21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究(山懸然太郎班)

(2)県内市町における乳幼児事故予防対策の実施状況

(平成28・29年度「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」進捗状況調査より)□

・事故防止対策の取組を行っている市町・・・平成28年度より全市町で実施

事故予防活動の内容	H28	H29
パンフレットの配布	27市町	27市町
健康教育	15市町	15市町
訪問時に指導	23市町	21市町
その他 ・乳幼児健診での保健指導 ・子育て支援事業で健康教育を実施 ・地域の広場で啓発 ・事故予防モデルルームの展示 ・ポスター掲示 ・子育て支援員研修 等	5市町	5市町

2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)について

(1)三重県 乳幼児突然死症候群(SIDS)及び予防策の認知度

(1歳6か月児健診時保護者へのアンケートより)

表17 乳幼児突然死症候群(SIDS)について知っているか(%)□

	H26	H27	H28	H29
知っている	88.3	89.2	90.6	91.1
知らない	11.7	10.8	9.4	8.9

表18 表17で「知っている」者のうち、その予防対策について知っている割合(%)

	H26	H27	H28	H29
あおむけ寝で育てる	89.4	80.0	84.4	84.6
禁煙する	60.5	54.6	54.5	53.0
できるだけ母乳で育てる	44.1	38.6	39.5	41.2

表19 お子さんが1歳になるまでの寝かせ方について(%)

*運動のためうつぶせの姿勢にしたり、自然に寝返ってうつぶせになる場合は除く。

	H26	H27	H28	H29
うつぶせ寝をしていた	4.6	6.5	2.7	2.6
時々うつぶせ寝をしていた	21.9	21.9	21.7	13.7
うつぶせ寝はほとんどしなかった	73.5	71.6	75.6	83.7

<参考：国の調査>

表20 お子さんを寝かせ始める時は、どのように寝かせていますか。

(あおむけ寝、うつぶせ寝、決めていない、その他の4択で回答)

	H13	H17	H21	H25
うつぶせ寝と答えた人の割合	3.5	2.4	1.3	1.3

*平成25年度厚労科研「健やか親子21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究(山懸然太郎班)

(2) 県内市町における「乳幼児突然死症候群(SIDS)」予防対策の実施状況

(平成29年3月 市町調査より)

- ・「乳幼児突然死症候群(SIDS)」予防対策を行っている市町
 ……27市町(H28年度) → 28市町(H29年度)

表21 対象者

	H28	H29
全数実施	18市町	19市町
一部対象者にのみ実施 <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦教室、両親教室等の参加者 ・うつぶせ寝や喫煙等のリスクのある家庭 ・特定妊婦 ・第一子 等 	9市町	9市町

表22 実施場面

	H28	H29
母子健康手帳発行時	8市町	9市町
乳児家庭全戸訪問事業	20市町	21市町
その他の家庭訪問	2市町	2市町
健康教育	12市町	11市町
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・出生届出時 ・育児相談時 ・乳児健診時 ・保健センター内での啓発 (ポスターやパネル掲示、リーフレット設置) ・子育て支援員やボランティアの研修 等 	6市町	6市町

表23 実施方法

	H28	H29
パンフレット、リーフレット	20市町	21市町
DVD	1市町	1市町
媒体を使用しない啓発	7市町	7市町
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター ・パネル ・市の子育てガイド 	3市町	3市町

3. 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)について

(1)三重県 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)の認知度

(3・4か月児健診「健やか親子21(第2次)」の指標に基づく乳幼児健康診査必須問診項目より)

表24 赤ちゃんが、どうしても泣き止まない時などに、赤ちゃんの頭を前後にガクガクするほど激しく揺さぶることによって、脳障害が起きること(乳幼児揺さぶられ症候群)を知っているか。(%)

	H28
知っている	96.0
知らない	2.3
無回答	1.6

<参考：全国値>

	H27	H28
「知っている」親の割合	97.6	97.6

(2)県内市町における「乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)」予防対策の実施状況

(平成28・29年度「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」進捗状況調査より)

・「乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)」予防対策を行っている市町

・・・23市町(H28年度) → 24市町(H29年度)

表25 対象者

	H28	H29
全数実施	11市町	10市町
一部対象者にのみ実施 ・妊婦教室、両親教室等の参加者 ・特定妊婦、要対協ケース ・訪問等で必要に応じて 等	12市町	14市町

表26 実施場面

	H28	H29
乳児家庭全戸訪問事業	12市町	16市町
その他の家庭訪問	6市町	9市町
健康教育	14市町	15市町
その他 ・妊娠届出時、出生届出時 ・育児相談時 ・母子保健推進員の研修 等	5市町	6市町

表27 実施方法

	H28	H29
パンフレット、リーフレット	13市町	17市町
DVD	8市町	10市町
媒体を使用しない啓発	5市町	5市町
その他 ・母子手帳発行教室にて赤ちゃん人形を使い健康教育 ・パワーポイント資料 等	2市町	2市町